

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	プレミアム付商品券発行事業		担当部署	経済建設部 経済局 商工政策課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市プレミアム付商品券発行事業補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	4	活力とにぎわいあふれる鳴門づくり	事業期間	開始	平成 21年度
政策(中項目)	1	活力都市なると			終期
(小項目)		産業(①商工業・金融)			
施策	8	産業の振興と経営基盤の充実強化			
基本事業	2	商店街等の基盤強化			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内商工業者及び一般消費者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	厳しい経済情勢を踏まえ、市内の需要喚起及び消費を促進するためにプレミアム付商品券を発行することで地域経済の活性化に寄与する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		発売分に対する換金率	99	99	100	-	-	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成22年度同様、鳴門商工会議所が発行する「うずとく商品券」に10%のプレミアを付け、発行総額1億円(額面1億1千万円)で実施し、経費の一部(500万円)を補助した。加盟店舗での予約販売を経て、7月2日に一般販売(6,176万円)を行い、即日完売した。短期間に経済効果を導くため、6ヶ月の使用期限(7月~12月)を設定して実施した。						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	商品券販売額	100,000	100,000	100,000	-	-	千円
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	発売分に対する換金率		99.3	99.7	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)			100.7	-	-	-	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位
事業費 (財源内訳の合計)		5,000	5,000	5,000	-	-	千円
財源内訳	国	0	0	0			
	県	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	5,000	5,000	5,000			
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		652	652	652	-	-	人
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.1	0.1	0.1			
	臨時職員等(2,012千円/人)						
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		5,652	5,652	5,652	-	-	千円

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	平成23年度と同規模で実施する。
---------	------------------

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄	
	6  /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 産業の振興と経営基盤の充実強化 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄	
	8  /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。			
3.効率性の評価		理由等所見欄		
8  /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <span style="font-size: 24px;">▼</span> <input type="text"/> <span style="font-size: 24px;">▼</span>			
	どのように改革するのか				

◎外部評価

評価結果 (委員)	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
評価結果 (市民評価員)	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	1・2
今後の改革の方向性	事業開始後4年が経過しており、経済効果の検証結果を踏まえて事業の存廃も含めて今後の方向性を検討する必要がある。				